

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 ERCP関連穿孔に関する当院での成績および治療方針について』

研究機関名 東邦大学医療センター大橋病院

研究責任者 外科 職位・氏名 助教 森山 穂高

【研究の目的】

東邦大学医療センター大橋病院外科では、内視鏡的逆行性胆道膵管造影の関連穿孔に対する治療戦略を明らかにすることを目的として本研究を計画しました。

この研究で得られる成果は、今後内視鏡的逆行性胆道膵管造影の関連穿孔を起こした患者様に対する迅速で且つ適切な治療につながると考えております。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター(大橋病院)倫理委員会の承認を得て実施するものです。

対象者:2010年1月～2022年10月までに東邦大学医療センター大橋病院において、内視鏡的逆行性胆道膵管造影の関連手技の中で、穿孔症例20例と、その中の手術加療症例9例を対象としています。

方 法: 診療録から抽出したデータを解析します。

【研究に用いられる試料・情報】

情報:年齢・性別・疾患名・治療名・検査目的・穿孔部位・穿孔機序・診断までの経過・治療方法・在院日数

【研究組織】

代表施設名: 東邦大学医療センター大橋病院外科

研究代表医師: 森山 穂高 役職: 助教

【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院外科

職位・氏名 助教 森山 穂高

電話 03-3468-1251 内線 7405